

福島第二原子力発電所 1号機使用済燃料プールでの異物等の回収について

平成 26 年 3 月 18 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

福島第二原子力発電所 1号機において、平成 26 年 3 月 3 日より、使用済燃料プール内にある使用済燃料貯蔵ラックの点検作業を行っていたところ、3 月 5 日午後 1 時 3 分、同プール床面に異物（ワイヤー付きのフック 1 個）があることを当社として確認しました。

なお、当該異物の近くの床面に中性子検出器廃棄容器*¹ 1 本が横置きになっており、今後、今回の異物との関連について確認します。

当該の異物等による同プール内の燃料等への影響はなく、外部への放射能の影響もありません。

（平成 26 年 3 月 6 日お知らせ済み）

平成 26 年 3 月 17 日、異物（ワイヤー付きのフック 1 個、実測で長さ約 45cm）を使用済燃料プール内より回収しました。回収したワイヤー付きのフックは、同プール内に工事用機材や中性子検出器を一時的に仮置きした際に使用していたものと推定しました。引き続き当該の異物が混入した原因を調査します。

なお、当該のワイヤー付きのフックの回収とあわせて、近くの床面に横置きとなっていた中性子検出器廃棄容器 1 本（実測で長さ約 55cm×外径約 4.5cm）を回収しました。回収した同廃棄容器の内容物を確認したところ、過去に使用した移動式炉内計装系*²の検出器の切断片等が入っていることを確認しました。今後、同廃棄容器が同プール内の床面にあった原因について調査します。

本件を踏まえ、1号機について、同プール内の床面を調査し他に異物等はないことを確認しました。今後、他号機（2～4号機）についても、同プール内の床面を調査します。調査結果については、とりまとめてお知らせします。

以 上

* 1 中性子検出器廃棄容器

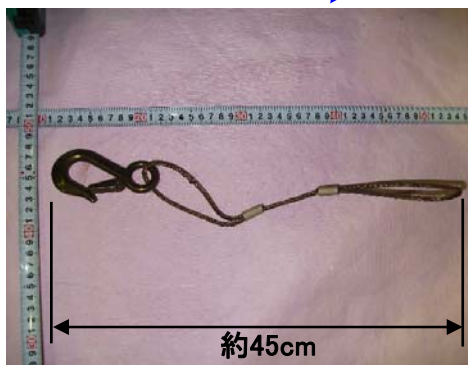
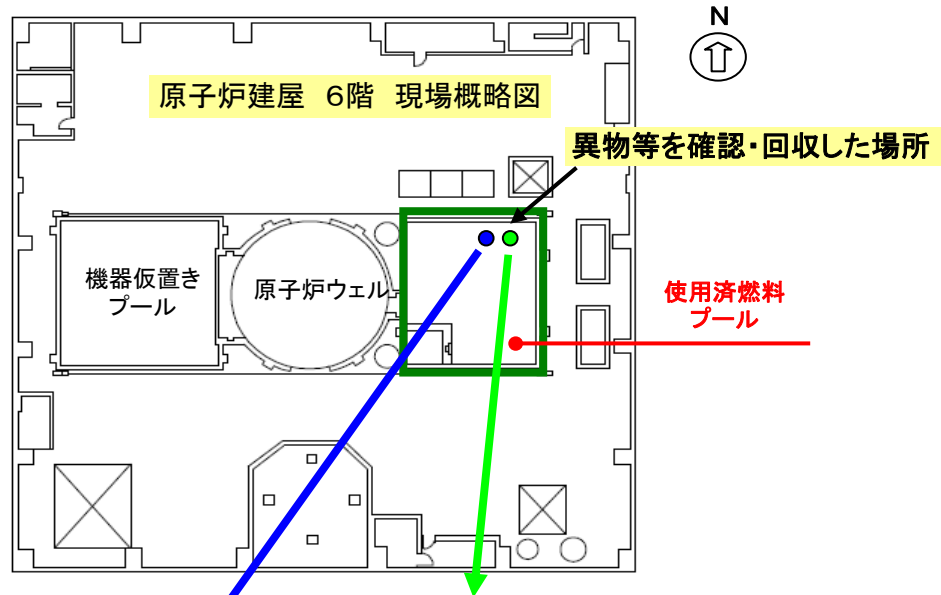
中性子検出器は、原子炉内の中性子の量を計測することで出力を監視する装置であり、中性子検出器廃棄容器は、原子炉内で使用した中性子検出器を切断して格納し廃棄するための容器。

通常、同廃棄容器は、雑固体貯蔵箱に収納し、使用済燃料プール内やサイトバンカ建屋のプール内に保管している。

* 2 移動式炉内計装系

原子炉の上下方向の中性子分布を測定する装置で、検出器を炉心内で上下に移動することにより連続で測定できる。また、局部出力領域モニタ（原子炉出力の状態を監視する装置）の校正用としても用いられる。

福島第二原子力発電所1号機 使用済燃料プール床面から回収した異物等の状況



回収した異物(ワイヤー付きのフック)

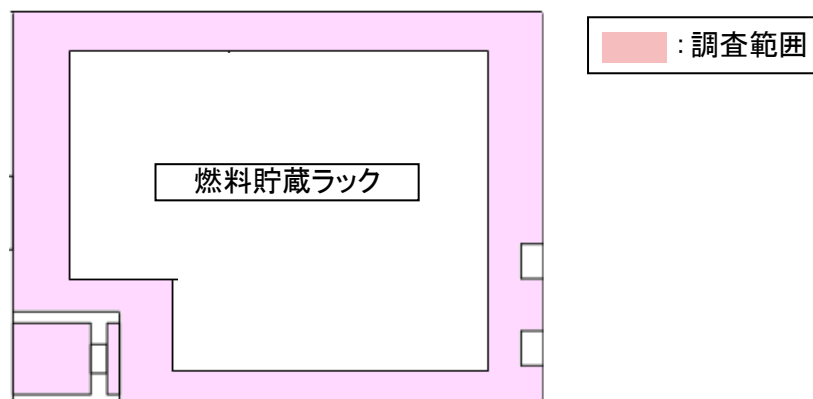


回収した中性子検出器廃棄容器



中性子検出器廃棄容器に入っていた内容物

使用済燃料プール内の調査について



使用済燃料プール(イメージ図)